

校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

令和元年 10月7日 (月) 毎日新聞

本校生徒がさつま町女性議会に参加し、毎日新聞に掲載されましたので紹介します。

女性議会モノ申す

女性議員がない鹿兒島県さつま町の6月町議会で一般質問者が1人しか出ず、代わりに女性が町政にモノ申そうと「女性議会」が6日開かれ、高校生から高齢者まで7人が

鹿兒島・さつま町

質問に立った。

町は2005年に旧3町合併で誕生後、女性町議が1人いたが、17年の改選で引退した。6月議会後、唯一の女性町議だった町女性団体連絡協議

低調な町政議論

会長、木下敬子（67）さんが「活気のない町と思われたいくない」と、町内女性を「1日議員」にして町政を追及する模範議会を町に提案し、実現した。

「1日議員」に手を挙げた町の薩摩中央高2年、上原麻奈さん（17）は、同高卒業生が町内で起業する場合の特別支援策を設けるよう求めた。日高政勝町長は「行政は公平の原点に立つ」と後ろ向きながら、「若い商工業者を励ます策を検討する」とも答弁した。



高校生も議場に立った鹿兒島県さつま町の女性議会

高校生ら7人が質問

主婦の久保田順子（63）は町立小学校再編計画を質問。原園修二教育長は「鶴田小と流水小を再編し、閉校した旧鶴田中の校舎に小学校を設置する」との考えを説明した。傍聴席は約40人で埋まり、「1日議員」に本当の議員になつてほしいとの声も出た。上原さんは取材に「選挙（出馬）は分からないが、町で活躍する人になりたい」と語った。久保田さんは町民の代表で出ているからには議場で町政を問うて知らしめる義務を果たしてほしい」と現職議員の奮起を期待した。【降旗英峰】